

量的安全度の向上のための  
想定される対応策の抽出

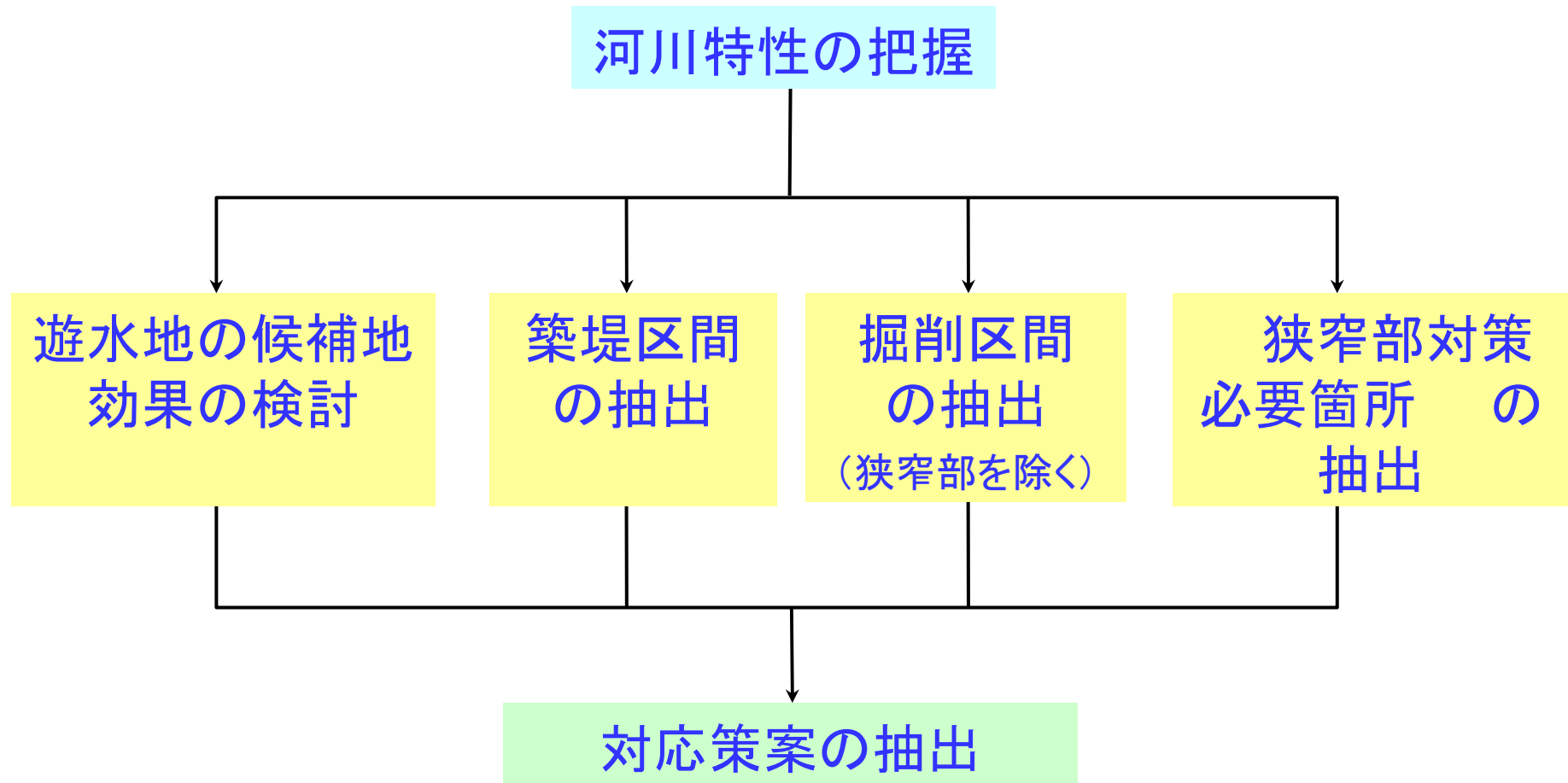
# 量的安全度の向上のための 対応策の抽出【案】

これまでの委員会の議論を踏まえ、昭和34年9月洪水  
(伊勢湾台風)の対応策を抽出。

## ● 対応策案

- ・ 築堤
- ・ 掘削
- ・ 狭窄部対策
- ・ 遊水地

# 量的安全度の向上のための 対応策の検討事項



# 遊水地の検討

# 河川審議会中間答申

## 「流域での対応を含む効果的な治水の在り方について」

### これまでの治水対策

- ・ダム、連続堤防等による河川改修

### これからの治水対策

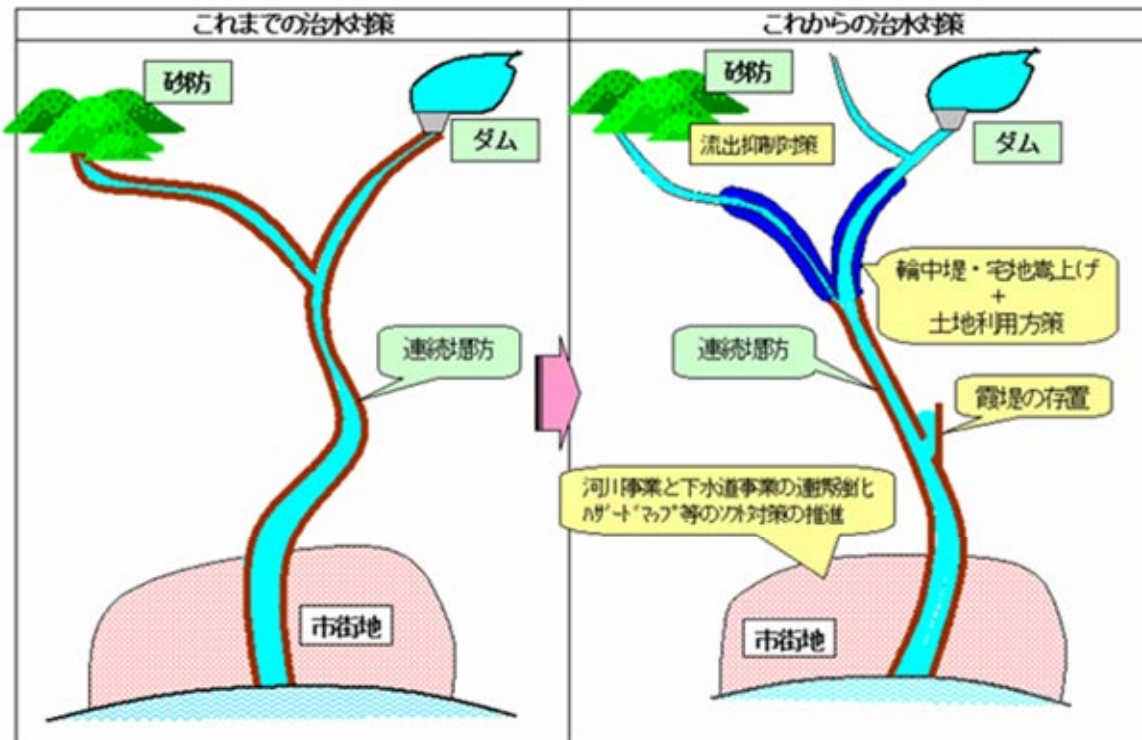
#### これまでの治水対策

- ・ダム、連続堤防等による河川改修

#### 流域対策

- ・輪中堤、宅地嵩上げ+土地利用方策
- ・河川と下水道との連携強化
- ・貯留施設等による流出抑制対策
- ・ハザードマップ作成・公表等

河川改修  
のみの  
対応の限界



# 流域区分と流域対策

## 流域区分

### 雨水の流出域

主に山地・丘陵など降った雨が河川に流入する地域で、流域の開発等に伴う洪水流出の増大への対応を考えるべき地域

### 洪水の氾濫域

洪水時には氾濫の危険性のある河川沿いの低平地のうち都市水害の防御域を除く地域で、氾濫への効率的な対処のしかた等を考えるべき地域

### 都市水害の防御域

洪水時には氾濫の危険性のある河川沿いの低平地のうち市街化の進展した地域で、洪水の氾濫や内水による浸水に対して防御の方法を考えるべき地域

## 流域対策

- ①貯留施設等の機能の担保
- ②貯留施設等の適正な設置・運用

- ①洪水氾濫形態別の対応
- ②連続堤以外の方式による人家の立地がない氾濫域での土地利用方策
- ③極めて大きな実績洪水が発生した河川での対策

- ①河川事業と下水道事業の連携強化
- ②都市水害の防御域内の施設の耐水化の推進
- ③安全度の向上に資するソフト対策の推進

# 洪水の氾濫域における具体的方策

## 流域対策

## 具体的方策

### ①洪水氾濫形態別の対応



- ▽拡散型氾濫域での対策
  - 霞堤の機能の担保
  - 二線堤等の活用
- ▽非拡散型氾濫域での対策
  - 安全度を高くする必要がある地域での対策  
連続堤防方式+輪中堤、宅地嵩上げ等
  - 安全度が変らない地域での対策  
新たな建築物の立地のあり方等の検討

### ②連続堤以外の方式による 人家の立地がない 氾濫域での土地利用方策



- ▽河川としての機能を確保する場合の方策
  - 霞堤による流量低減
  - 非拡散型氾濫域において  
洪水の流下域としての活用
- ▽河川としての機能を求められない場合の方策
  - 霞堤による流量低減
  - 非拡散型氾濫域において  
**一時的に湛水する区域の活用**

### ③極めて大きな実績洪水が 発生した河川での対策



- ▽土地利用方策を組み合わせた対策
  - 建築物の移転や耐水化
  - 建築物を新築する場合の制限の検討

# 遊水地の事例

## ▼一関遊水地(北上川)



↑ 洪水調節前

洪水調節後↓

